

1 実践の概要

実践校・園	能代市立湊城西小学校
タイトル	地域・保護者との合同避難訓練 ①校内授業中における地域との合同避難訓練 ②校外活動中における地域・保護者との合同避難訓練
実施月日(曜日)	① 平成24年5月28日(月) ② 10月3日(水)
実施場所	① 湊城西小学校校舎 ② 風の松原陸上競技場・能代公園
想定 場面	① 授業時間 ② 校外活動中(全校マラソン大会) 災害の種類 大地震発生、それに伴う大津波警報
参加者	①全校児童446名・教職員30名・保護者7名・地域住民14名 ②全校児童448名・教職員30名・保護者・地域住民多数

2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦労した点●
1 地域防災委員会 ・学校周辺の5自治会長(鍛冶町、盤若町、大正町、末広町第一、末広町第二)、PTA三役、校長、教頭、教務、生徒指導主事	●打合せするべき内容、参加者等、多くが手探りの状態であった。 ○どれくらいの範囲の自治会に連携を願うか。 ○災害時、本校に避難すると考えられる本校に近い5自治会に参加を願った。
2 校内授業中における地域との合同避難訓練 5月28日(月) (1)地震発生(机の下等に避難) (2)避難開始(大津波警報、三階へ避難、地域・保護者の参加者も三階へ) (3)反省会(体育館において、地域、保護者の参加者も) (4)避難所設置のための初動訓練(地域、保護者、教職員)	○大津波警報の際の避難場所の選定(近隣の高度の検討) ○地域の高いところを検討した結果、本校三階と決定(標高19m) ○5自治会と本校保護者全員に参加の案内をした。 ●地域や保護者の方々の参加について工夫が必要である。 ○避難訓練終了後、学校職員、地域や保護者の方々の避難所設置のための初動訓練(本校体育館の防災備蓄品の点検と活用)をした。
3 校外活動中における地域・保護者との合同避難訓練 10月3日(水) (1)マラソン大会閉会式時に地震発生(その場にしゃがむ) (2)避難開始(大津波警報、近辺で高度のある能代公園へ避難、地域・保護者の方々も参加) (3)人員確認 (4)反省会(公園、地域、保護者の参加者も一緒に)	○5自治会と本校保護者全員に参加の案内をした。 ○避難経路や避難場所(能代公園標高23.7m)を事前に検討した。 ○閉会式に参加した地域や保護者の方々も、一緒に訓練に参加してもらうことで意識を高めた。 ○最終避難場所まで600mあり、低学年児童には大変であったが、避難途中、高学年が低学年を励ましながら避難した。 ○けが人を想定した担架による避難も実施した。保護者にも協力してもらったが担架移動の大変さが分かった。

協力・連携先の分類	団体名・組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・同窓会等	・市教育委員会教育総務課	・避難終了後、災害時専用電話（PHS ウィルコム）にて教育総務課へ報告
保護者・PTA関係	・PTA三役 ・PTA	・地域防災委員会にて事前打合せ ・全校保護者へ参加の案内
地域組織	・学校周辺の5自治会（鍛冶町、盤若町、大正町、末広町第一、末広町第二）	・地域防災委員会にて事前打合せ ・自治会長経由で参加の案内、自治会参加者の掌握

3 成果と課題

成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1 5月（市の総合防災訓練）の訓練を皮切りに、6月（休み時間における地震を想定）、7月（緊急時における児童の引き渡し）、9月（避難所開設訓練）、10月（校外学習における地震・津波を想定）、11月（休み時間における不審者侵入を想定）、2月（火災を想定）の計7回、地域や保護者の方々にも参加してもらった訓練を何度かすることにより、児童の防災意識が高まった。 2 地域防災委員会による話合いや実施訓練により、独居老人や障害者等、避難が困難な方たちも住んでいる地域の実態や保護者、地域住民の防災意識が希薄であること等の留意すべき事項・問題点等が見えてきた。 3 校外活動（風の松原陸上競技場）中の避難訓練の実施は今後の活動の参考になった。異なる場所で災害に遭遇した場合も今回の訓練を基に考えることができそうである。 4 家庭で地震に遭ったとき（12月7日）、適切な避難行動をとることができたとの保護者からの声があった。
課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域防災委員会で地域の高齢者の避難について、行政とも連携しながら、学校側がどのようにサポートしていくかについての問題点が出された。 2 休日や夜間時等、学校職員がいないときの対応や避難所開設・運営についての学校職員と市職員の役割を検討する必要がある。 3 市からも随時補充されているが、食料や水等、備蓄品の量的な問題がある。 4 回を重ねると地域や保護者の参加者が減少した。参加意欲が起こる工夫や呼びかけが必要である。
今後の継続予定	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度は、5月の避難訓練以降、引き渡し訓練や校外活動時における避難訓練、防災教室等にも保護者や地域の方々に参加を願った。今後は、市や消防署等の機関とも連携を深めていきたい。 2 登下校中の避難訓練を実施したい。 3 避難訓練以外に、地域の防災意識を高める取組（防災教室、防災関連を取り入れた学校行事等）を検討したい。



<校外活動中における避難訓練>



<避難所開設訓練>